

創薬エコシステムサミットの開催 ～ドラッグ・ロスの解消と持続的な医薬品提供体制の構築～



参議院議員・薬剤師 本田 顕子

通常国会が閉会し、主要官庁の夏の幹部人事も一段落した後の7月下旬、来年度の予算概算要求の基本方針が閣議了解されました。

医療・年金等に係る経費の高齢化の進展等に伴う自然増分は0.41兆円とされ、経済・物価動向等には配慮しつつも引き続き厳しい歳出改革努力が求められる中、年末の予算編成に向けて、医療機関・薬局のデジタル化、物価高・賃上げ対応、中間年改定の取扱いなどについて党内の提言等も踏まえながらしっかりと主張してまいります。

また、国民に最新の医薬品を迅速に届ける観点で「創薬力の強化」も重要であり、私が政治を志した時から掲げているテーマでもあります。

7月30日に関係府省共同による「創薬エコシステムサミット」が二部構成で開催されました。

首相官邸での第一部では、岸田文雄総理が多くの患者さんとその家族が治療法を待ち望んでいるにもかかわらずドラッグ・ロスが生じている現状に触れながら、わが国が世界の創薬基盤の一つとして世界の人々に貢献するために、国内の創薬基盤の再構築・再強化を図り、医薬品産業が成長産業・基幹産業として民間の更なる投資を呼び込むことができるよう全力で取り組むと宣言されました。

●首相官邸ホームページ「総理の一日」より

https://www.kantei.go.jp/jp/101_kishida/actions/202407/30souyaku.html

私は、文部科学省を代表して第一部へ出席するとともに、創薬に関わる多くの産学官関係者が出席された第二部では、大臣政務官として行った挨拶の中で、薬学教育においても創薬力を向上させるための改革を進め、薬を必要とする方へ一刻も早く、かつ安定的に医薬品を届けるための政策を実現していくと述べさせていただきました。

諸外国に遅れることなく革新的な医薬品が臨床使用されることと、市販後の使用実績によって有用性が一定程度評価された医薬品が安価にかつ安定的に供給されること、この両者を円滑に機能させ続けることがわが国の社会経済の発展と国民の命・暮らしを守ることに寄与すると考えております。治療等に必要な医薬品を迅速かつ安定的に提供できるよう引き続き全力で取り組んでまいります。